

マトヤ技研工業株式会社

エコアクション21 環境経営活動レポート

(対象期間：2021年7月～2022年6月)



2022年7月25日発行



目次

1. 経営理念
2. 環境経営方針
3. 組織の概要
4. 認証・登録の対象組織・活動
5. 2021 年環境目標とその実績・評価
6. 2021 年度環境目標の取り組み計画と評価
7. 2022 年度の取り組み
8. 環境関連法規等の違反、訴訟の有無
9. 代表者による全体の見直しと評価
10. 環境活動と紹介

1. 経営理念

- 社会的信頼と責任

会社を取り巻く人々と誠意を持って協調し、お客様の視点で考え、
お客様に安心して安全な機械装置を提案し、社会的信頼と責任を果たします。

- 会社の発展

永続的発展を第一とする健全経営を推進し、業界の先頭に立ち、
絶えず新技術を創造し、社会から支持され、信用される企業経営
に努めます。

- 社員の幸福

社員の幸福の達成に努め、社員は産業人として絶えず研鑽に努め、
創意工夫と進取挑戦の精神で仕事に取り組みます。

2. 環境経営方針

マトヤ技研工業株式会社 環境経営方針

人類の利便性を求める経済活動が一方では地球環境の破壊に繋がり、人類の存在を脅かしています。

マトヤ技研工業は、「社会的信頼と責任・会社の発展・社員の幸福」という経営方針を達成する為に「低炭素・循環型・自然共生社会」を考慮し、省力化・環境配慮機器の開発、製作、販売事業、並びに有益な社内環境活動を通じ、持続可能な社会環境を追及してまいります。

1. 事業活動全般における電力・燃料等のエネルギーの効率利用や水資源の有効利用による環境負荷及びコスト削減を追及し、最適な企業活動を目指します。
2. 省力化機器メーカーとして、お客様に省力化や環境配慮商品を提供し労働負荷や環境負荷並びにコスト軽減に貢献する企業を目指します。
3. 業務及び製作工程における一般・産業廃棄物の発生を抑制し、発生物は資源への還元を目指します。
4. 当社周辺の緑豊かな地域に鑑み、化学物質の適正保管と使用、排出抑制を行なうと共に生態系への影響の少ない物質への切替えに取り組みます。
5. 地域に育まれる企業として、地域周辺の環境保全に全社員で取り組みます。
6. 環境保全活動をシステムの的に運営し、定期見直しを行い、継続的改善・汚染の予防を積極的に実施します。
7. 環境関連法規及び同意したその他の要求事項を順守する等コンプライアンスの向上を目指します。
8. この環境方針は、当社の環境活動の指針として全従業員に周知し、一般の方に公開します

制定日：2008年6月1日

改定日：2021年7月1日

代表取締役社長 豊増 敏夫

3. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社

代表取締役社長 豊増 敏夫

2) 所在地

本 社 鹿児島県曾於市末吉町南之郷 3050-6

宮 崎 工 場 宮崎県都城市梅北町 11267

大阪営業所 大阪府豊中市服部南町 1 丁目 4 番 10 号

東京営業所 埼玉県八潮市八潮 6 丁目 16 番地 4 セレクト 21 八潮南 1 号室

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 今村 明（製造部 次長）

環境事務局 益留 房代（取締役総務部長）

連 絡 先 TEL : 0986-76-0018 FAX : 0986-76-2729

E-mail : info@matoya.com

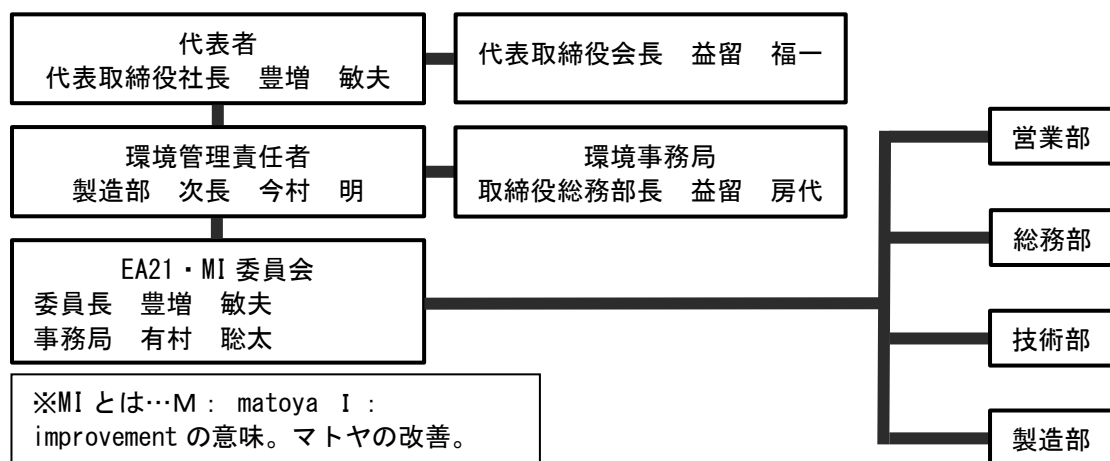
4) 事業内容

自動省力機器設計・製作および販売

5) 事業の規模（2021 年度：2021 年 7 月～2022 年 6 月）

売上高	800 百万円
従業員	全体 58 名（本社 52 名、大阪営業所 3 名、東京営業所 3 名）

4. 認証・登録の対象組織・活動



* 適用範囲：本社、大阪営業所、東京営業所

- ・ 東京・大阪営業所：電力は非管理、一般廃棄物は少量のため、自動車燃料等の削減のみを適応する

担 当	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・及び全従業員への周知 ・ 環境目標・活動計画書の及び承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者 (製造部 次長)	・ 環境関連法規等のとりまとめ表を承認 ・ 環境目標・活動計画書を確認 ・ 環境経営マニュアルの承認・環境経営活動レポートの確認 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境事務局 (取締役総務部長)	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境への負荷の自己チェックシート及び取組み自己チェックリストの実施 ・ 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 ・ 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく遵守評価の実施 ・ 環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・ 特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト・訓練・記録 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境経営マニュアル・環境経営活動レポートの作成、公開
EA21・MI 委員会 (各部門責任者)	・ エコアクション 21 に関する事項の審議・検討 ・ 従業員に対する教育訓練の実施 ・ 環境経営システムの実施・環境方針の周知 ・ 関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境事務局報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 問題点の発見、是正、予防処置の環境事務局報告
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・ 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告



5. 2021年度環境目標とその実績・評価

項 目			基準年度	2021 年度 2021 年 7 月～2022 年 6 月		
			2019 年度	目標	実績	評価
売上高		百万円	869	-		-
電力の削減	本社	エアコンを 買い替える	-	加工場		○
		kg-CO ₂	※1	-	45,115	-
燃料 CO ₂ 排出量	本社	kg-CO ₂	43,658	42,785 △2%	37,799 △11.66%	○
	東京	kg-CO ₂	13,499	13,229 △2%	11,560 △12.61%	○
	大阪	kg-CO ₂	7,989	7,829 △2%	3,508 △55.19%	○
	合計	kg-CO ₂	65,146	63,843 △2%	52,867 △17.19%	○
産業廃棄物排出量		リサイクル 率	※2 87%	87%	94.1%	○
水資源排出 量	本社	m ³	※2 204	200 △2%	173 △13.5%	○
	宮崎工場	m ³	※3 270	265 △2%	189 △28.6	○
化学物質の適正管理と清掃		回	36	36	37	○
環境配慮製品販売量		台	※2 77	78	59	×
地域清掃活動		回	※2 49	49	51	○

評価は、○は達成、×は未達成

※1) 購入電力の CO₂ 排出係数は、九州電力の 2021 年度調整後
排出係数 0.391kg-CO₂/kWh で、算出しています。

※2) 基準年度：2017・2018・2019 年度実績の平均値です

※3) 基準年度：2017・2018・2019 年度実績の平均値です

1. 二酸化炭素排出量の削減	目標	実績
① 電力の削減：エアコンを買い替える	加工場	→ ○
② 燃料の削減：基準年比	本 社	△2% → △11.65%
	東 京	△2% → △12.61%
	大 阪	△2% → △55.19%
2. 産業廃棄物の削減：リサイクル率	87%	→ 94.1%
3. 水使用量の削減：基準年比	本社	△2% → △13.5%
	宮崎工場	△2% → △28.6%
4. 化学物質の低減：化学物質の保管管理及び保管場所の徹底清掃		
5. 環境配慮製品の開発及び販売促進		
① クーラント製品及び遠心分離機等		
② 業務用 光触媒環境浄化装置		
	販売目標 78 台	実績 59 台
7. 地域清掃活動		
2021 年度	目標 49 回	実績 51 回
★東京営業所と大阪営業所では、電力と水資源と		
廃棄物は、共有の為管理できませんので、自動		
車の燃料 CO ₂ の削減のみ行いました。		

6. 2021年度環境目標の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況	評価
電力による二酸化炭素排出量の削減		
冷房温度 28℃設定	○	加工場のエアコンを省エネタイプにしました。
暖房温度の 18℃設定	○	
不要・休憩時間照明の消灯	○	
OA 機器のこまめ OFF	○	
エアコンフィルターの定期清掃	○	
断熱フィルム	○	
加工場のエアコン買い替える	◎	
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減		
急加速発進の抑制	○	自動車は、プロボックスを購入しました。エコカーです。
冷暖房の控え目使用（27℃）	○	
買換え時はエコカーを購入する	◎	
一般廃棄物の削減		
裏紙利用両面印刷コピーの徹底	◎	グループウェアを導入してペーパーレス化ができた部分もありました。
ペーパーレス化の推進	○	
ミスプリントを減らす	○	
雑誌カタログ段ボールの再生利用への徹底	◎	
シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
納入業者へ段ボールの引き取り依頼	◎	
産業廃棄物（廃プラ）の削減		
委託処分廃棄物の削減	○	分別は、よくできています。
工事での産廃の分別徹底	○	
産廃ボックスへの廃棄物の最小化	○	
節水		
雨水の有効利用（洗車等）	◎	本社の方だけ洗車時に雨水を活用しています。
蛇口はこまめに閉める	○	
化学物質の低減		
化学物質の保管管理及び清掃	◎	毎月、キッチンと管理も清掃も行って在庫を増やさない努力をしました。
塗装場清掃徹底 1 回/月（年 12 回）	◎	

製品への環境配慮		
クーラント製品等の販売	△	目標台数には至りませんでした。
業務用光触媒環境浄化装置の販売	△	
社会貢献		
公民館の清掃	○	毎週水曜日 掃除の日を朝から夕方に時間を変更したことで、汗をかいてもすぐに帰宅できるようになりました。
周辺道路の清掃	◎	



7. 2022年度の取り組み

項 目			基準値	2022年度目標 2022年7月～ 2023年6月	2023年度目標 2023年7月～ 2024年6月	2024年度目標 2024年7月～ 2025年6月
電力の削減	本社	kg-CO ₂	2021年度 33,240	32,907 △1%	32,575 △2%	32,243 △3%
	宮崎工場	kg-CO ₂	2021年度 11,875	エアコン新設の為 調査	-	-
	東京営業所	kg-CO ₂	2019年度	新規の為調査	-	-
燃料 CO ₂ 排出量	本社	kg-CO ₂	2021年度 37,799	37,421 △1%	37,043 △2%	36,665 △3%
	東京	kg-CO ₂	2021年度 11,560	11,444 △1%	11,329 △2%	11,213 △3%
	大阪	kg-CO ₂	2021年度 3,508	3,473 △1%	3,438 △2%	3,403 △3%
	合計	kg-CO ₂	2021年度 52,867	52,338 △1%	51,809 △2%	51,280 △3%
産業廃棄物排出量		リサイクル率	3ヶ年平均値 95%	95%	95%	95%
水資源 排出量	本社	m ³	3ヶ年平均値 186	184 △1%	182 △2%	180 △3%
	宮崎工場	m ³	3ヶ年平均値 177	175 △1%	174 △2%	172 △3%
化学物質の適正管理と清掃		回	2021年度	37	37	37
環境配慮製品販売量		台	3ヶ年平均値 68	68	68	68
地域清掃活動		回	3ヶ年平均値 50	50	50	50

基準年度は、2021年 ※3ヶ年平均値は、2019・2020・2021年度実績の平均値です。

*大阪営業所の目標は

- ①環境方針等の掲示や環境活動レポートやマニュアルの設置。 そして定期的な環境学習
- ②燃料 CO₂ 排出量の削減の取組を行います。

*東京営業所の目標は

- ①環境方針等の掲示や環境活動レポートやマニュアルの設置。 そして定期的な環境学習
- ②電力、燃料 CO₂ 排出量、水資源排出量の削減の取組を行います。

2022 年度計画

取り組み計画	
電力の二酸化炭素排出量の削減	産業廃棄物（廃プラ）の削減
・ 冷房温度 28℃設定	・ 委託処分廃棄物の削減
・ 暖房温度の 18℃設定	・ 工事での産廃の分別徹底
・ 冷房は室温が 30℃以上になったら付ける	・ 廃ボックスへの廃棄物の最小化徹底
・ 不要・休憩時間照明の消灯	節水
・ OA 機器のこまめ OFF	・ 雨水の有効利用（洗車等）
・ エアコンフィルターの定期的掃除	・ 雨水タンクへの貯水管理
・ 室外機に遮熱板を付ける	・ 蛇口はこまめに閉める
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減	化学物質の低減
・ 急加速発進の抑制	・ 化学物質の保管管理及び清掃
・ 冷暖房の控え目使用（27℃）	・ 塗装場清掃徹底 1 回/月（年 12 回）
・ 買換え時はエコカーを購入する	・ 在庫管理を行い在庫を減らす
一般廃棄物の削減	製品への環境配慮
・ 裏紙使用・両面印刷コピーの徹底	・ クーラント製品
・ ペーパーレス化の推進	・ 業務用光触媒環境浄化装置の販売
・ ミスプリントを減らす	・ 製品の計画・進捗状況の把握
・ 雑誌、タログダンボールの再生利用への徹底	社会貢献
・ シュレッダー廃紙のリサイクル化	・ 公民館の清掃
・ 納入業者へ段ボールの引取り依頼	・ 周辺道路の清掃



8. 環境関連法規等の違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	規 制 内 容	適用される施設物品等
廃棄物処理法 (一般廃棄物)	- 一般廃棄物の収集運搬業者への委託 - 契約（覚書）及び許可証写し保管 (許可期限切れ更新)	一般廃棄物(紙くず、段ボール、厨芥、包装等)
(産業廃棄物)	- 委託先許可業確認 - 収集運搬・処理業者との契約 (委託契約・産廃管理票発行・5年間保管) - 産廃保管基準、保管置場の表示 - 産業廃棄物管理票交付等状況の行政報告 - 自社による運搬時の表示・書類携行 - 多量排出業者、産廃処理計画・実施状況報告書提出、特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	廃プラ 金属くず 廃油 廃酸 コンクリートくず
浄化槽法	- 設置届出・浄化槽の維持管理 - 定期点検・定期清掃・定期水質検査	合併浄化槽
自動車リサイクル法	使用済み車は引き取り業者に引き渡す。新車購入時にリサイクル費用を支払う	自動車
家電リサイクル法	家電製品の廃棄時に リサイクル料金支払い	TV、冷蔵庫、 家庭用エアコン
資源有効利用促進法	- 別名：リサイクル法 - 使用済パソコン等のメーカー回収義務	社内パソコン
騒音規制法	特定施設の届出 空気圧縮機 7.5 kW 以上。規制基準の遵守	空気圧縮機 7.5 kW 2 台
毒物及び劇物取締法	- 事故時連絡 - 保管場所の表示 - 盗難、流出防止	硝酸
労働安全衛生法	有機溶剤の適正な管理・SDS の周知	塗料用溶剤
フロン排出抑制法	- フロン類回収・破壊の適正取扱い - 業務用エアコン・冷凍冷蔵庫管理者の簡易・定期点検、漏洩量行政報告義務	業務用空調設備 コンプレッサー

環境関連法規及び条例等への違反、また訴訟等の有無について、
2022 年 6 月 30 日に確認した結果、法律違反等はありません。
また、地域住民からの訴訟や苦情や要望などは創業以来ありません。(2022 年 6 月 30 日現在)

9. 代表者による全体の見直しと評価

1. 環境活動の取り組み結果の評価

- ・ **地域清掃活動**・・・公民館の清掃や周辺道路の草刈や、竹の伐採や片付けも確り行われて、地域貢献も出ています。
 - ・ **産業廃棄物**・・・化学物質の適正管理及び清掃も出ています。来期も塗装関係が多くありますのでタンク清掃も定期的に行いましょう。
- また、雨水の利用を今後の食肉機械で利用できるようにして、水の節水に取り組みましょう。

2. 実績と評価

- ・ **電力の削減**・・・今期は加工場、資材室、本社組立場のエアコンを新しくしました。そのために、消費電力は従来のエアコンより節電タイプになっています。また、宮崎工場エアコンも新規に取り付けましたので作業環境は良くなりました。温度管理を確り行いエアコンの適正使用を行いましょう。
- ・ **自動車燃料の削減**・・・コロナの非常事態宣言などが、解除されたことや車を使う遠距離工事の移動が多くなり燃料の使用量が急激に増えました。今後は各人が急加速発進や冷暖房の使用を抑えるようにして燃料削減に取り組ましよう。
- ・ **水資源の節水**・・・今期は、食肉機械の受注が少なかったことによりテスト用の水使用が殆んどありませんでした。そのために、水の使用量が目標値以下に出来ました。来期以降は、雨水を使った食肉機械のテストを出来るように検討していきましょう。
- ・ **化学物質の適正管理及び清掃**・・・塗料などの化学物質の管理も見える化が出来ており、適正な量の保管がされています。来期もクーラント装置の塗装が多くありますので、適正管理と塗装タンクの清掃などを定期的に行いましょう。
- ・ **環境配慮製品の開発販売**・・・半導体部品の不足とコロナ感染症の影響により、自動車業界の工場停止が行われて世界的に車の販売数が伸びませんでした。そのために、自動車業界で使われるクーラント装置の販売が減少しました。
- ・ **地域清掃活動**・・・7月8日は大雨や雷雨のために周辺道路の清掃が出来ない日がありましたが目標は達成できました。また、周辺道路の竹の伐採清掃により、地域の皆様も車を安全に運転することが出来るようになりました。今後も地域に貢献できる活動を進めていきましょう。

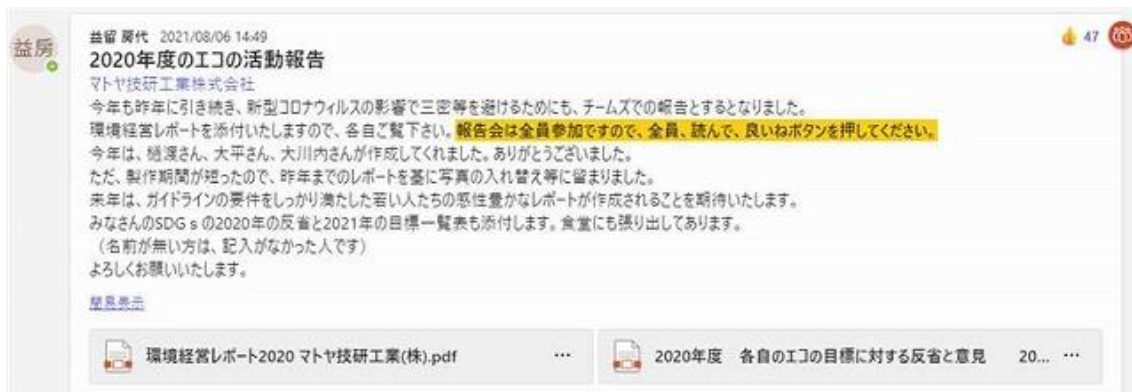
3. 今後の取り組み

毎年、気候温暖化が進み気温上昇が続いております。世界的にも欧州では45度の気温や水不足により多くの山火事が発生しています。今後は、世界的にこのような現象が増えてきます。日本でも東北や北陸での大雨などが発生して多くの被害が発生しています。今後は、全世界でCO₂削減に取り組むことが必要となりますので、弊社でも全員でCO₂削減やSDGsに取り組んでいきましょう。

今期は、大きなと畜ラインの仕事を受けていますので、産業廃棄物の問題も出てきます。適正な処理を実施していきましょう。

10. 環境活動の紹介

①環境経営方針の周知



今年もコロナ禍で集会を避けるためグループウェア内で
全員を対象にエコの報告を行いました。

SDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な開発目標	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成

社員へ SDGs の意識づけのため個人で目標を決めていただきました。



平成 27 年度に受賞したエコアクション 21 環境活動レポート
大賞地域社会貢献賞のパネルや賞状も掲示しています。

②環境関連法則の遵守



年一回の防災訓練

例年とは違う場所から火災が起きた場合を想定し、各部署で役割を決め効率よく避難できるように行動しました。永田防災様から消火器の使い方を習い、水入りの消火器で実践しました。



毎年、火災警報器の点検と消火器の点検をしています。火災報知機の手配りについても学びました。



酸洗いの液が流出した場合の対策の勉強もしました。

③二酸化炭素排出量の抑制



本社工場の組立場・資材室・加工場の
エアコンを新しくしました。



社有車は、クリーンディーゼル車が2t車と乗用車で2台。
ハイブリッド車は、もう一台購入し3台あります。
安全を配慮してオートマティックにし、カーナビを取り付けました。

④資源の効果的活用の推進



事務所で集めた古切手は、川内なでしこライオンズクラブへ贈呈し、インクカートリッジはエコリカで回収してもらいます。

⑤化学物質の適正な管理及び清掃



塗装場はいつも清掃を行ないチェックリストに記入しています。
在庫管理もしっかりしてあり、余分な在庫は置かないようにしています。
塗装料を使う時の、注意書きも貼り出しています

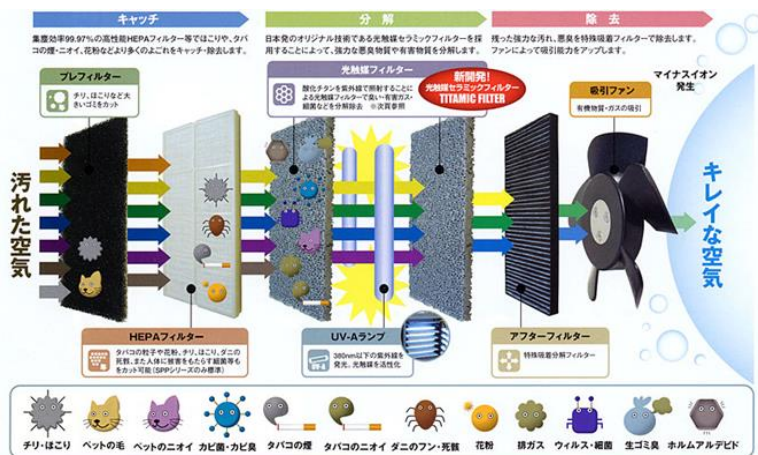
⑥資源の効果的活用の推進

6-1. 環境配慮型クーラント製品の開発・販売



マグネットコンベアーは、機械部品加工会社の機械に取り付けて、切り粉をクーラント液の中から自動的に取り出すことによって、クーラント液の寿命を延ばし、クーラント液の使用量を減らす効果があります。(廃液が減る)

6-2. 除菌と消臭を同時に行う業務用光触媒環境浄化装置の販売



光触媒環境浄化装置（かざとキンとり君）は、業務用として介護施設や病院、空港施設など幅広く使用されています。もちろん、一般家庭用も使用されています。（かざとは、鹿児島弁で臭いです）

光触媒環境浄化装置は、家庭でも病院や介護施設、大学病院等幅広く活用できます。



⑦地域の環境保全事業への参加



社員駐車場・公民館の草刈りや、地域の清掃を毎週水曜日に行っています。



宮崎工場前の花壇も、みんなが苗を植えています。